

KG 社会学批評 第4号

KG Sociological Review vol.4

関西学院大学 先端社会研究所 関西学院大学大学院 社会学研究科

『KG 社会学批評』編集委員会

2015年3月

— 目次 —

〈 1. 書評論文 〉

- 1-1. 「あいだ」を生きる
—— ナイロビにおける若年ミドルクラスのセクシュアリティ ——
Rachel Spronk, *Ambiguous Pleasures: Sexuality and Middle Class Self-Perceptions in Nairobi*
(Berghahn Books, 2012)
三阪 夕芽子 …… 1
- 1-2. 聾者・聴覚障害者への情報保障の可能性
—— タイムラグの再検討 ——
金澤貴之『手話の社会学—教育現場への手話導入における当事者性をめぐって』
(生活書院、2013年)
飯塚 諒 …… 11
- 1-3. 社会的事実を生成する装置としての Hearsay
Nicholas Difonzo, Prashant Bordia, *Rumor Psychology: Social and Organizational Approaches*
(American Psychological Association, 2006)
中島 沙紀 …… 25
- 1-4. 「生き方」をめぐる若者の規範的なアイデンティティ
—— 「ひきこもり」における社会適応の語り ——
浅野智彦『「若者」とは誰か —— アイデンティティの30年』(河出書房新社、2013年)
伊藤 康貴 …… 37
- 1-5. 産業遺産の保存活用からみる文化遺産の役割
山本理佳『「近代化遺産」にみる国家と地域の関係性』(古今書院、2013年)
西牟田 真希 …… 53

〈 2. 特集 行く・読む 〉

2-1. 「舞子」を育てる —— 「やまがた舞子伝承の夕べ」を事例に ——	谷岡 優子 …… 63
2-2. 台湾の路上から —— 日常と統計の交差点 ——	仲 修平 …… 67
2-3. 中国の「ごみ村」で生きる人々	金 太宇 …… 71
2-4. 作法の社会学的研究に向けて —— 記号学的分析による日常的場面における作法の評価から —— 山根一郎『作法学の誕生』（春風社、2004年）	難波 美喜 …… 75
2-5. 時代診断の疑似否定 鈴木洋仁『「平成」論』（青弓社、2014年）	笹部 建 …… 79
記録 —— 関西学院大学社会学研究科大学院生サポートプログラム 大学院生・研究員による研究活動（2014年4月～2015年3月）	…… 83
『KG 社会学批評』— <i>KG Sociological Review</i> への投稿について	…… 85
執筆者紹介	…… 86
編集後記	…… 89